

山梨県リハビリテーション支援センター 令和4年度 活動報告

センター長
佐藤吉冲

令和4年度 活動報告

1. 県リハ支援センター運営会議

センターメンバー会議（センター職員 10名参加）

毎月第一火曜日17時からZOOM開催

- ① 県リハ支援センター受託業務の確認と啓発について
- ② 県リハ支援センター主催研修について、企画・運営

2. 圏域連絡会

県内4圏域（峡東地域・峡南地域・中北地域・富士東部地域）ごとの会議を開催。

- ・参加者：山梨県 保健福祉事務所 圏域市町村担当者 各市町村協力機関
県リハ支援センター
- ・内容：山梨県地域リハビリテーション支援体制について
各市町村 地域リハビリテーション支援体制の紹介
*市町村と協力機関の関係づくり（事業説明会）、協力機関の支援、PDCA
各市町村の地域リハビリテーション体制整備・活動進捗状況 情報交換

3. センター主催研修会

- ・日時：2023.2.7(火)開催
- ・開催方法：ハイブリッド開催
- ・講師：栗原正紀先生 長崎リハビリテーション病院 理事長
日本災害リハビリテーション支援協会 代表理事
- ・テーマ：JRAT 活動は地域リハマインドで！
- ・参加者数 会場参加：37名、ZOOM参加 175名 計 212名

4. POSバンクの運営

- ・派遣市町村：4市町村
- ・派遣セラピスト：37名
- ・派遣内容：自立支援型地域ケア会議・個別訪問指導

5. 山梨 JRAT との連携

- ・オブザーバーとして参加
- ・共催での研修会開催

6. 連絡会

- ・日時：2023年3月6日 WEB（ZOOM）開催
- ・参加者：山梨県、各保健福祉事務所、市町村担当者、協力機関、関係団体、県リハ支援センター

7. その他

令和4年度まとめ

- 昨年度は、山梨県の新しいリハビリテーション支援体制について市町村担当者への周知にとどまったが、今年度は、協力機関まで周知することが出来た
- それに合わせて、協力機関の支援を開始することが出来た
- 県リハ支援センターは、引き続き各市町村で協力機関のリハ職が事業に参加し、実施出来るよう伴走支援を行っていく。合わせて人材育成も進めて行く
- 今後は市町村事業がより効果的な事業となるよう協力機関の関わりが重要
- 住民の本当の困りごとに対応するためには、事業委託ではなく、包括協定を
- どの市町村でも体制作りが進むよう支援をしていく